

2025 年度 札幌支部 活動報告

【2025 年度スローガン】

札幌地域未来型企業を目指し、環境変化に対応しよう

【2025 年度活動方針】

1、労使見解に基づいた経営指針で企業づくりを

労使見解から学ぶべき点は経営姿勢を確立し、社員と信頼関係を築き、共に経営指針の成文化と実践を行い、社員をもっとも信頼できるパートナーと考えることです。社員とともに高い次元で団結し難局を乗り越える企業づくりに取り組みましょう。

⇒労使見解に基づく経営姿勢の確立と、社員を最も信頼できるパートナーとして共に歩む企業づくりを目指し、経営指針の成文化と実践を軸とした活動を進めました。経営指針委員会では、第 22 期経営指針研究会を 21 社 22 名でスタートさせ、前年を大きく上回る参加となりました。5 月には中同協経営労働委員長である（株）山田製作所・山田会長を招いた学習会を開催しました。2023 年度より復活させた支部例会では、2 月に工藤英人副支部長（（株）工藤商事・社長）の報告とグループ討論を通じて経営指針の大切さを学び深めました。地区会や各組織でも経営指針や経営姿勢をテーマとした例会・学習会が行われ、「実践し続ける」ことの重要性が共有されました。

2、札幌地域未来型企業を目指した例会づくり

時代に即した問題をテーマに、課題解決に結びつく例会を通じて、経営者と社員が共に学び合い、地域に密着し、地域の未来に寄り添う『札幌地域未来型企業 ※』づくりに取り組みます。そのためにも、地区会の枠を超えた全員告知例会を積極的に行い、全国最大規模を誇る支部のスケールメリットを生かしましょう。【札幌地域未来型企業は造語で、地域は札幌支部がカバーする範囲を想定】

⇒今年度は「札幌地域未来型企業」を支部共通テーマに掲げ、地区会の枠を超えた全国・全館員告知例会や大規模合同例会を積極的に開催し、支部全体で学びの機会創出に力を注ぎました。一方、各地区会や委員会における多様な取り組みを、このテーマと明確に結び付けて共有・発信する点には十分ではありませんでした。しかし、採用・人材育成・事業承継・DX・地域連携など時代に即したテーマで行われた数多くの学び合いは、「札幌地域未来型企業」を目指す活動そのものです。今後は「2030 ビジョン」と連動させながら、これらを支部全体の取り組みとして明確に位置付け、推進していきます。

3、40 周年を契機に新たな支部戦略づくりに取り組む

1986 年 6 月 19 日に設立した札幌支部は、2026 年 40 周年を迎えます。現在、12 地区、8 つの委員会、7 つの部会・研究会で積極的な学び合い活動が行われています。これらの活動が、40 周年記念行事を通じて新たな化学反応を起こし、未来に向けた支部戦略を構築することで、札幌支部を新たなステージへ引き上げることに繋がります。そのためにも 1900 人の会員を達成し、記念行事に向けた準備を進めていきましょう。

⇒12 地区会、8 つの委員会、7 つの部会・研究会において、多様な学び合いの活動が展開されました。会合参加者は支部全体で 840 名（参加率 44.9%）に達し、多くの会員が積極的に学びの場に参加しました。また、9 月に今年も実施した大交流会には、昨年を大きく上回る 250 名の申込があり、40 周年事業に向けた大きな弾みとなりました。さらに、厳しい環境を突破するため、仲間づくりと魅力ある支部活動の推進に取り組みしましたが、会員数は 1,795 名にとどまりました。